



お兄ちゃんの彼女が僕の部屋に来てする事

あとり 秋尚

今日は土曜日…

仕事でお父さんもお母さんも
帰ってこない日です

今この家には
僕とお兄ちゃん
…そして

ガチャ

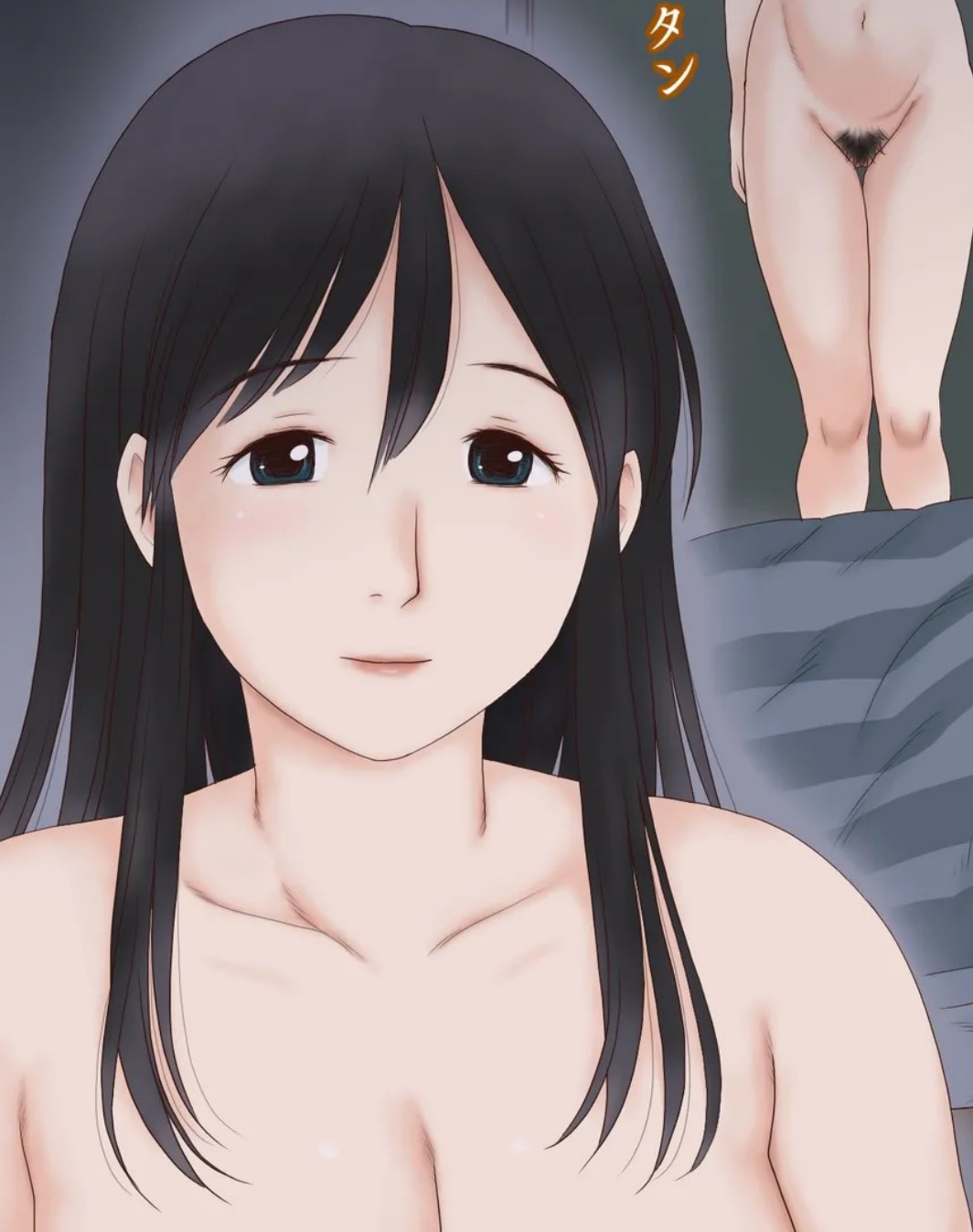


毎週土曜日…

お兄ちゃんの部屋にお泊りに来る
お兄ちゃんの彼女…

パタン

あゆみ
お姉ちゃん…



あゆみお姉ちゃんが
僕の部屋に
来るときは
いつも裸です

「寝てるの？
たかお君」

「……」

ちゅ……

「あゆみ…お姉ちゃん」

「起こしちやっただ？
ごめんね
たかお君」

「いいのよ
そのまま寝てて」



そう言うとお
あゆみお姉ちゃんは
いつものように
僕の布団の中に
入ってきました

そして…
パジャマのズボンと
パンツを脱がすんです

そして…

そして…



僕はあゆみお姉ちゃんが
どうしてそんな事をするのか
わかりませんでした

おちんちん
汚くないのかな

…でも
僕は…

あつ…あゆみ…
お姉ちゃん…

ちゅる

僕はあゆみお姉ちゃんに
おちんちんをなめられると
とても変な感じになります

ちゅぽ

ちゅぽ

おしっこが
出ちやいそいな
感じになって…

あむ…

はう
うう〜

…そして
おちんちんが
ビクンビクンって
なって

「あッ」

で出ちやった

びゅっ

びゅっ

「ご…ごめんなさい
あゆみお姉ちゃん」

「うふっ
いいのよ
たかお君」

いくん…



「精通
おめでとう
たかお君」

「せい…ふう？」

「来週はお祝いに
もっと気持ちのいいこと
してあげるわね」

「気持ちの…ふうと」



「じゃあね」

「おやすみなさい
たかお君」

「う…うん」

そう言うと
あゆみお姉ちゃんは
部屋を出ていきました



…もつと
気持ちのいいことって
なんだろう…

「おいあゆみ
どこ行ってたんだよ」

「うんちよつとね」

お兄ちゃんの声だ…

「目え覚ましたらいねえし
さみしかったんだぞ」

「ごめんごめん
じゃあもう一回してあげるから」

「だ…だったら今度は
えろつとえろつと…」

お兄ちゃんの彼女が僕の部屋に来てする事

そう…上手よ
そのまま中で
おちんちんをこすってみて…

大丈夫… 最初は
うまくできなくても…

ん…うん
上手よ たかお君

そう
…そうよ

んっ…
あせらなくてもいいのよ
も…もう少しゆっくり あっ

………

…うふっ いいのよ
たかお君…そのまま…

…気持ち…よかった？

































あゆみお姉ちゃんが
僕の部屋に
来るときは
いつも裸です

「寝てるの？
たかお君」

ちゆ

SAMPLE

「あゆみ…お姉ちゃん」

「起こしちゃった？
ごめんね
たかお君」

「いいのよ
そのまま」

SAMPLE

そう言うとき
あゆみお姉ちゃんは
いつものように
僕の布団の中に入
りてきました

そして…
パジャマのズボンと
パンツを脱がすん
です

そして…

そして…

SAMPLE

あとり秋尚

気持ち…
よかった？

おちんちん
汚くないのかな

お兄ちゃんの彼女が僕の部屋に来てする事



